

(サブユニット：ウイルス学)

学習アウトカム		科目達成レベル (統合臨床微生物学)
<b>I. 倫理観とプロフェッショナリズム</b>		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 責任をもって医学・医療を実践するために以下の行動ができる。		
3	法的規範を遵守し、行動に責任を持つことができる。 29) 感染症法等に定められたウイルスに対する法的責任・規範を理解する。	E 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である。
<b>III. 医学および関連領域の知識と応用</b>		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医学・医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、応用できる。		
4	<p>病因と病態 27) ウイルスの危険度分類を説明することができ、ウイルスの基本的な不活化の方法を実施できる。</p> <p>1) ウイルス粒子の構造を図示し、各部の機能を説明出来る。 2) 構造と性状によりウイルスを分類できる。 3) DNAゲノムとRNAゲノムの複製・転写を一般化し、説明出来る。 4) ウイルスの吸着、侵入、複製、成熟と放出の各過程を説明出来る。 5) ウイルス感染細胞に起こる変化を説明出来る。 6) ウイルス感染の種特異性、組織特異性と病原性を説明出来る。 7) 主な感染様式的具体例を説明出来る。 8) ウイルスに対する中和反応と細胞性免疫を説明出来る。 9) ワクチンによるウイルス病予防の原理を説明出来る。 10) ワクチンの種類と問題点を説明出来る。 14) 主なDNAウイルス (CMV, EBV, アデノウイルス, パルボウイルス B19, ヒトヘルペスウイルスとB型肝炎ウイルス) が引き起こす疾患名を列挙できる。 15) 主なRNAウイルス (ポリオウイルス, コクサッキーウイルス, エコーウイルス, ライノウイルス, C型肝炎ウイルス, インフルエンザウイルス, 麻疹ウイルス, ムンプスウイルス) が引き起こす疾患名を列挙できる。 16) ヘルペスウイルス科の特徴と潜伏感染について説明出来る。 17) アデノウイルス科の特徴とかぜ症候群について説明出来る。 19) パポーウイルス科の特徴と腫瘍ウイルスの概念について説明出来る。 20) エンテロウイルスと無菌性髄膜炎について説明出来る。 23) ロタウイルス科の特徴とウイルス性下痢症について説明出来る。</p>	<p>問題解決に応用できる知識を示せることが単位認定の要件である</p> <p>基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である</p> <p>D</p>

学習アウトカム		科目達成レベル (統合臨床微生物学)	
6	治療、予防 11) 抗ウイルス薬の種類と作用原理を説明できる。	D	
7	疫学、統計 13) 主要なウイルス疾患の疫学およびサーベイランスについて説明できる。	E	
<b>IV. 診療の実践</b>			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者・生活者を尊重し、安全で質の高い診療を実施するために、以下のことが適切に実施できる。			
6	検査の必要性を判断し、検査結果を解釈できる。 12) ウイルス学的検査方法の原理と意義を説明できる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である

**(サブユニット：細菌学)**

学習アウトカム		科目達成レベル (統合臨床微生物学)	
<b>I. 倫理観とプロフェッショナリズム</b>			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 責任をもって医学・医療を実践するために以下の行動ができる。			
3	法的規範を遵守し、行動に責任を持つことができる。 1) 感染症法等に定められたウイルスに対する法的責任・規範を理解する。	E	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である。
<b>III. 医学および関連領域の知識と応用</b>			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医学・医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、応用できる。			
4	病因と病態 2) 細菌の構造を図示し、各部の機能を説明出来る。 3) 構造と性状により細菌を分類できる。 4) 細菌のエネルギー代謝および増殖様式を説明出来る。 5) 細菌の遺伝子伝達様式および薬剤耐性化機序を説明出来る。 6) 病原細菌の感染経路と感染源を説明出来る。 7) 病原細菌の病原因子を分類し特徴を説明出来る。 8) 病原細菌の病原因子の作用機序を分子レベルで説明出来る。 9) 病原細菌に対する生体防御因子を分類し説明出来る。 10) 新興感染症・再興感染症を説明出来る。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である

学習アウトカム		科目達成レベル (統合臨床微生物学)	
	11) 日和見感染症・院内感染を説明できる。 12) 薬剤耐性菌 (MRSA, VRE) を説明できる。 13) 不顕性感染を説明できる。 14) 菌交代症を説明できる。 15) ブドウ球菌感染症とレンサ球菌感染症を説明できる。 16) 病原性大腸菌を分類し説明できる。 17) 代表的な腸管感染症を説明出来る。 18) 新しい日和見感染症を分類し説明出来る。 19) 細菌遺伝学を説明できる。		
6	治療、予防 20) 抗菌薬の種類と作用原理の基本を説明できる。	D	
7	疫学、統計 21) 世界の細菌感染症の現状と問題点を説明出来る。	E	
<b>IV. 診療の実践</b>			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者・生活者を尊重し、安全で質の高い診療を実施するために、以下のことが適切に実施できる。			
6	検査の必要性を判断し、検査結果を解釈できる。 22) 主要な細菌学的検査法の原理とその意義を説明できる。	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である

**(サブユニット：寄生虫学)**

学習アウトカム		科目達成レベル (統合臨床微生物学)	
<b>I. 倫理観とプロフェッショナリズム</b>			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 責任をもって医学・医療を実践するために以下の行動ができる。			
2	法的責任・規範を遵守する。 感染症法による届出寄生虫感染症に対応できる。	E	基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である 基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
<b>III. 医学および関連領域の知識と応用</b>			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医学・医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、応用できる。			

学習アウトカム		科目達成レベル (統合臨床微生物学)
4	<p>病因と病態</p> <p>1) 寄生虫の形態分類を表示でき、各種の寄生虫学的特徴を説明できる。</p> <p>2) 原虫類と蠕虫類の生活史を説明できる。</p> <p>3) 原虫類における有性生殖と無性生殖の臨床的意義について説明できる。</p> <p>4) 蠕虫類における有性生殖と無性生殖の臨床的意義について説明できる。</p> <p>5) 細胞外寄生原虫と細胞内寄生原虫の臨床医学的意義について説明できる。</p> <p>6) 寄生虫-宿主相互作用における種特異性、組織特異性と病原性を説明できる。</p> <p>7) 寄生虫感染経路および体内移行経路について臨床医学的意義について説明できる。</p> <p>8) 寄生虫感染に対する自然免疫および獲得免疫を説明できる。</p> <p>9) 寄生虫感染症に対する診断法・治療法・予防法（ワクチンを含む）の原理を説明できる。</p> <p>10) 主な寄生虫（蠕虫類と原虫類）が引き起こす疾患名と診断法・治療法・予防法を説明できる。</p> <p>11) 日和見寄生虫感染とその重症化について説明できる。</p> <p>12) 日本に分布する（エキノコックス、蟯虫、回虫、糞線虫、鉤虫、トキソプラズマ）による寄生虫症について説明できる。</p> <p>13) 主要な熱帯原虫症（マラリア）について説明できる。</p> <p>14) 主要な国際蠕虫感染症（フィラリア症、住血吸虫症、回虫症、包虫症、囊虫症、鉤虫症）について説明できる。</p>	<p>基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である</p>
	<p>16) 寄生虫の病原性と危険度を説明することができ、寄生虫の基本的な不活化の方法・院内感染対策を実施できる。</p>	<p>問題解決に応用できる知識を示せることが単位認定の要件である</p>
5	診断	<p>基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である</p>
6	<p>治療、予防</p> <p>1) 主な寄生虫（蠕虫類・原虫類）が引き起こす疾患名と診断法・治療法・予防法を説明できる。</p> <p>2) 主要な寄生虫学的検査法の原理と治療法についてその意義を説明できる。</p>	
8	<p>保健・医療・福祉制度</p> <p>寄生虫症の国際医療学的意義について説明できる。</p>	F
<b>IV. 診療の実践</b>		

学習アウトカム	科目達成レベル (統合臨床微生物学)
<p>千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者・生活者を尊重し、安全で質の高い診療を実施するために、以下のことが適切に実施できる。</p>	
<p>6 検査の必要性を判断し、検査結果を解釈できる。</p> <p>1) 主な寄生虫（蠕虫類と原虫類）が引き起こす疾患名と診断法・治療法・予防法を説明できる。</p> <p>2) 主要な寄生虫学的検査法の原理と治療法についてその意義を説明できる。</p>	<p>D</p> <p>基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である</p> <p>基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である</p>